

第2回「提言書素案検討会」報告

第2回「提言書素案検討会」

日 時 2024年3月8日（日）18:00~20:00

会 場 町民センター2A クラブ室

参加者 渡辺優子会員 杉本かおり会員 岡野敏彦会員、野谷 悦会員、池田直幸会員
山内みどり副会長、原 道子会長 倉重成歩教育総務課長

内 容

- 1 提言書の内容構成（案）について
- 2 各担当執筆の素案の検討
- 3 今後の方向性について

確認事項

- 1 提言書の内容構成（案）は次の通りとする

- | | |
|--|-------------------------------|
| I はじめに | |
| II 提言 | |
| III 提言理由 | |
| 1 二宮町のめざす子ども像 | 提言理由1と2は当初案を入れ
替え、左記のようにする |
| 2 これからの教育のあり方 | |
| 3 二宮町の学校教育に係る喫緊の課題 | |
| 4 分離型小中一貫教育校「にのみや学園」の現状と課題 | |
| 5 施設一体型小中一貫教育校の意義 | |
| 6 施設一体型小中一貫教育校設置までのロードマップと取り組まなければならないこと | |
| 7 } | 未開催部分の内容 |
| 8 } | |
| IV 参照資料 | |

- 2 提言（案）について

※各分担が持ち寄った提言を整理し、原則として提言理由の順に並べる（担当 原）。その際、トップに教育の大義に関わる文言を記載する。※整理するにあたり2以降は文末に「こと」を付けてみた。

提言（案）

- | |
|---|
| 1 教育は一人一人の幸せに資するもの、持続可能な社会の創造に資するものとして責任をもって進められなければならない |
| 2 二宮町のめざす子ども像である「自分の強みを生かして心豊かに生きる子」の実現に向けて自尊心、自己肯定感を高め、幸せに生きるための教育を進める <u>こと</u> |

- 3 二宮町の学校教育に係る喫緊の課題である不登校及び小規模化への対応を早急に始めること
- 4 「不登校」「小規模化」に対して構造的な改善を図ること
- 5 二宮町の学校教育に係る諸課題について対応の可否の理由も含め進捗状況の報告をすること
- 6 施設分離型小中一貫教育校の成果や課題を整理し、施設一体型へのスムーズな移行に生かすこと
- 7 施設一体型小中一貫教育校の意義や効果を学校、地域、保護者等で広く共有できるようにすること
- 8 教育委員会は地域、議会との協議を進め、2030 年代前半の施設一体型小中一貫校の設置に向けて年次計画を明確にするとともに具体的な検討を開始すること
- 9 (今後の研究会を受けて追加)

① 上記提言（案）は、研究会協議を経て決定する。

② 3「二宮町の学校教育に係る喫緊の課題」については3月27日開催の第4回研究会で緊急度を共通理解した上で作成する。

3 提言理由について

① 提言理由については3月27日開催の第4回研究会で共通理解を図り、必要に応じて修正する。

② 議事録を再度確認し、協議内容から「外せない内容」に絞って記載する。記載されなかった内容については参照資料で確認することになる。

③ 提出されたそれぞれの書き方の統一性を今後検討したい。

4 その他

① 提言5に関しては、提言書の実効性を確実なものにするために提出後の扱い方について研究会で検討する。

② 提言書の完成は令和6年5月～6月（広報にのみや3月号には「施設一体型小中一貫教育校設置研究会のまとめは令和6年度中にお知らせする」と記載されている）を予定。